

緑豊かな自然の町、たちばなのお米

橘産 さがびより

食味・収量が決まる穂肥時期まじかです！

佐賀の梅雨明けは、平年より10日遅い、7月29日となりま
した。梅雨明けとともに、猛暑が続き、さがびよりも真夏の日照
を受け、引き締まった草姿になってきました。
いよいよ、食味・収量に一番影響のある穂肥の時期になってき
ました。



平成27年8月7日発行



8月6日〜7日には、穂肥研修会
を行いました。現在の草丈・葉色か
ら判断し、肥料の施用する時期、量
を決定します。

肥料を早くやりすぎたり、多くや
りすぎたりすると、葉が伸びすぎて、
稲姿がみだれやすくなり、病害虫の
発生を助長したりします。特に、今
年は、稲にとって大敵のいもち病の
注意報が発表され、「橘米どころ通
信」等において、生産者の皆様に注
意を呼び掛けています。また、肥料
をやりすぎると食味に大きく影響す



るため、生産者のみなさんも真剣そのものです。

生産者の皆さんは、自分の圃場から、標準的な稲の
株を「橘ライスセンター」に持ち込み、草丈・葉緑素
計による葉色・穂も赤ちゃんの幼穂の長さから見て、
肥料を施用する時期・量を決定していきます。

現在の生育状況は、平年並みの状況に変わりはありません。
穂の出る時期(出穂)についても、8月31
日頃を見込んでおります。平年並みの温度で推移する
としたなら、今現在の収穫見込み時期は、10月10
日過ぎ頃に収穫はじめの見込みです。

ただ、一点気になるのは、出穂時期の天気です。
8月25日から9月5日くらいまでは、曇りや雨の坊
主"をさげて晴天になることを祈ります。

